

若宮地区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 令和2年7月29日(水) 19時～20時20分
場所 新居浜市立若宮公民館
司会・進行 塩田若宮校区連合自治会長
参加者数 男 36人 女 5人 合計 41人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

Q. 若宮小学校について、今の現状において、東側の南北にずっと樹木が植わっているが、落ち葉が落ちっぱなしで、下水道にも落ち葉が溜まって詰まっている。3月までは清掃してくれていたが、4月以降はしていない。今後、市としては樹木の剪定や、落ち葉の清掃等についてはどのようにしていこうと考えているのか。

A. 現時点では、どこが管理するかは明確になっていないが、来年度4月に本施設が完成して、指定管理者により管理していただくようになるため、その中で樹木管理等についてもしていただくようになる。

2. 校区課題

課題① 避難所について

【質疑応答】

(新田連合自治会西)

令和2年6月に危機管理課より「新居浜市避難所運営における新型コロナウイルス感染症に関する基本方針」が示されたが、若宮校区の避難所の収容人数はどのくらいで、市が推定する避難予定者数が収容人数を超えた場合、その対応策等についてどのようにお考え

か。また、避難所運営に必要な設備として、市内の公民館等ではW i - F i 環境が整っているということであるが、若宮公民館では整備されていない。また、専用スペース区分け用パーテーション、簡易テント、ポータブルトイレ、体温計、消毒剤、マンホールトイレなど、この地区ではどのように整備されるのか。

(危機管理統括部長)

若宮校区の指定避難所の収容可能な人数は、現在は若宮学習館が工事中のため使用可能な体育館で202人、若宮公民館が114人、併せて316人となっている。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、家族以外の避難者同士が2mの間隔を取るなどスペースを確保すると1/3程度の収容人員となるため、公民館と体育館で約100人が収容可能人数となる。災害が集中し、収容人数を超えた場合については、隣接する惣開校区には惣開公民館、惣開小学校、西中学校、新居浜工業高等学校が指定避難所となっている。今年度は、3密を避けるため状況に応じてできる限り多くの避難所を開設し、開設状況を防災行政無線、ホームページ等を通じて広報していくので、隣接する場所にお住まいの方は他校区の指定避難所への避難もご検討いただければと思う。

なお、避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、安全な親戚・知人宅や自宅の安全な場所への分散避難を検討いただくことや、避難勧告等が発令された場合に、対象地域にお住まいの方がホテルに避難された場合には宿泊費・交通費の1/2を補助する制度も創設したので、ハザードマップ等でリスクを確認のうえ、事前にご家族で話し合っておいていただきたいと思う。

また、市の指定避難所だけでは収容できない場合にはイオンモール新居浜と「災害時における被災者に対する応急救援活動の協力に関する協定」を締結しており、市からの要請に応じ避難場所を提供いただけるようになっている。

次に、避難所運営に必要な設備については、公民館にマスク、消毒薬、使い捨て手袋、ペーパータオル、除菌ウエットティッシュ、接触型体温計など衛生用品を配布している。また、若宮公民館、学習館に合わせて間仕切り用テント12張り、ダンボールベッド16個、非接触型体温計4個を今年度中に配備する計画となっている。

次に、W i - F i 環境の整備については、実は今、若宮公民館だけW i - F i の設備ができていない。設置された当時の電波環境が悪かったことが理由で、他の公民館では、災害時のみ使えるW i - F i 設備がある。その後、電波環境もよくなったので、他の公民館と同じように設置してほしいと県へ要望したが、制度が既になくなってしまっているので、今現在若宮には整備されていない状態だ。ただし、W i - F i 環境の整備については、避難所の開設時だけではなく平時から使用させてほしいという要望もあることから、今後、教育委員会との協議を進めていきたいと考えている。

マンホールトイレについては、本年度新居浜小学校、宮西小学校に設置予定で、順次整備に向け検討したいと考えている。災害時のトイレについては、マンホールトイレ、ポータブルトイレ、し尿処理用品、仮設トイレなどがある。また、今年度トイレカーを購入す

るので、災害時のトイレについて計画的に整備を進めていく。

(若宮公民館長)

W i - F i 環境の整備等について、大体の目安としていつ頃できるのか。特に体温計については、11月に文化祭を何らかの形で実施しようと思っている。その時に、いろいろなところから来館されるので、非接触型の体温計が必要だと考えている。公民館は高齢の方の利用が多いのでそういったものを設置していただきたい。

(危機管理統括部長)

非接触型の体温計については、既に発注は済んでいるが、納期が12月となっている。12月ぐらいにならないと製品が入らないという状況だ。

(若宮公民館長)

もし災害が起きた場合は、どうすればいいのか。

(危機管理統括部長)

基本方針の中では、災害が起きて避難所に避難しなければいけないという時は、まず自分で体温を測っていただいたうえで避難してほしい。もし熱が高いと思われる時は、避難所に行く前、あるいは行ってからその旨を申告していただきたい。

(若宮公民館長)

早く避難しなければならない時に、体温を測ってから避難するような時間は実際にはない。

(教育委員会事務局長)

文化祭の時には必ず貸し出せるようにする。

(新田連合自治会)

間仕切り用テントなどの備品は各公民館に送られてくるのか。現在、防災倉庫が一杯になっている状態で、どんどん送られてきても、それを置くところがないという状態であるので、新たに倉庫を建てるか、旧小学校の所に倉庫を建ててくれるのかしないと収納する場所がない。

(危機管理統括部長)

基本的には、公民館と体育館で工夫して置くスペースを確保していただきたい。本当にスペースがない場合は相談してほしい。

(新田連合自治会西)

W i - F i 環境について、今年のまちづくり校区懇談会でも、災害時以外でも利用できるようにしてもらいたいということで協議し、検討するとのことであったが、この1年間どういうふうに進んだのか。

(危機管理統括部長)

災害時のW i - F i 環境に関しては、元々付いていなかった公民館でも、西日本豪雨の時は事業者を設置していただいて有効に活用できたという事例も聞いている。新居浜市の他の公民館は設置できているので、災害時に若宮公民館だけ情報通信機能が損なわれているということがないように、市としても責任を持ってやっていきたいと思う。

(ICT戦略課長)

平成25年当時のソフトバンクが整備した災害時のW i - F i について説明する。

これは、平成25年当時、愛媛県とソフトバンクモバイルとの間で「避難所等における公衆無線LANの設置運営に係る協定」というのが締結され、県内の各市町の避難所にソフトバンクの費用負担で公衆無線LAN機器を整備したものである。この機器の設置に際しては、ソフトバンク委託事業者が平時の状況で確認し、施設の許可を得たうえで窓際など電波状況が良い場所を選定して試験を実施しているが、基地局からの入力値が低くサービスエリア圏外となる場合、通信速度が基準値を下回る場合など、該当する17カ所については設置されていない。公民館については若宮と大島と別子山の3か所には現在も設置されていない。

現在は電波状況の改善も見込まれたので、県に対して未整備避難所へのW i - F i 整備の要望はしている。しかし、事業者であるソフトバンクから「追加設置はしない」という方針が示されているので、現在も設置されていない状況だ。

一昨年7月の西日本豪雨の災害発生の際には、ソフトバンクが愛媛県からの要請を受けて県内828施設に加え、3,000か所のスポットも含めて解放したり、それ以外の通信事業者も自社判断によって解放されて接続ができたと同っているので、災害が発生した場合は、おそらくそのような対応がとられるということで、今、若宮にはソフトバンクの機器が付いてはいないが、おそらく大丈夫であろうと考えている。

(教育委員会事務局長)

平時の利用につきましては、現在のところ整備されていないが、公民館の事業等で必要というようなご要望があれば検討したいと考えている。

(新田連合自治会西)

「大丈夫だろう」というような返答では安心できない。

(危機管理統括部長)

最低でも、災害時にここだけが情報通信ができないということにならないように、市としても具体的に通信事業者と協議していきたいと思っている。

(新田連合自治会事業部長)

2年前に新田地区が浸水した時に、水防に連絡しても全然通じないということがあった。大雨の際は放送も聞こえないし、防災ラジオも全員持っているわけではないので、こういう時にはどこに聞いたらいいのか、またどういった対応をしてくれるのか。

(危機管理統括部長)

いざという時に、市役所のどこに電話をすればいいのかということだが、今年新しい庁舎が建設された。その中に災害時の新しい情報システムも導入している。電話は10回線で対応できるようにしており、65-1349^{イザシキョウ}という番号になっている。もし何かあったときはこの番号にかけていただきたい。

(新田連合自治会事業部長)

電話をかければ対応していただけるのか。

(危機管理統括部長)

隣が対策本部になっており、伝わってきた情報は本部から各班に繋がるようになっている。また、情報伝達につきましては、防災ラジオであるとか放送とか、新居浜いんふおとかいろいろ情報手段があるが、もちろんテレビ等でも避難勧告とかについて随時情報を出すようにしているので、いろいろな手法で多くの人に速やかに情報が届くように努力したいと考えている。

※再検討事項 … なし

課題② ごみ問題について

【質疑応答】

(新田連合自治会)

ごみステーションの設置と維持管理は自治会が行っているが、地区外や自治会員以外の方からの不適切なごみ出しに苦慮している。具体的には、収集日以外のごみ出し、分別のできていないごみ、規定外の大きさのごみ、カラス・犬・猫用防止ネット内にきちんと投棄されない生ごみなど、これら収集残となったごみやカラスなどによる生ごみの食い散らかしの後始末が自治会員の大きな負担となっている。

地区外や自治会員以外の方が、自治会費も払わず、ごみステーションの掃除をすることもなく、自治会管理のごみステーションを無断で利用し、その不法投棄が原因で、自治会に作業が生じている現実を市も認識し、何らかの対応をお願いしたい。

自治会のごみステーションは54か所ある。目標として放置ごみを無くすということで、週2回のパトロールと回収をして、4か月ぐらいで放置ごみは無くなった。不法に投棄されているのは大体4か所ぐらいであり、西条市あたりから出勤の途中で捨てに来ている。西条市の指定ごみ袋で捨てており、分別もできていない。自治会では不法に投棄されたごみを一カ所に集めて一時管理し、分別して処分している。また、カラス除けのネットについて、使用していないときに収納するところがなく見苦しいので何とかしたいと考えているが、予算がない。市からの援助等はないのか。

(市民環境部長)

地区外からの持込みごみや自治会員以外の方が自治会のごみステーションを使うことについては、全市的に大きな課題となっている。地区外からの持込みごみでは、ご指摘のとおり、収集日を守らないことや分別ができていないことにより、ごみステーションを管理

している自治会に大きな負担がかかっていることがあるものと思う。また、自治会員以外の方が何の負担もなく、ごみステーションを利用する、いわゆる、ただ乗りをしていることによって、自治会員との間で大きな不公平感を生じていることには問題があるように感じている。

地区外からの持込みごみや分別されていないごみ、あるいは自治会員以外のごみ排出など対策としては、各自治会の要望を受けて、ごみステーションにそれぞれを禁止する旨のラミネート看板作成などを行っているので、ごみ減量課へご相談いただければと思う。また、散乱しているごみがある場合には、ごみ減量課へご連絡いただければ、ごみパトロール車による回収も行っているので、ご利用していただければと思う。

先ほど、おっしゃっていただいたように、週2回パトロールしていただいて、4か月で放置ごみが無くなったということで、これはありがたいことだと思う。しかしながら、いわゆる不法投棄が4か所あり、西条市からの持ち込みごみもあるとのことですが、本来はその市のごみはその市で処理するというのが原則なので、それは法律違反の状態だ。これは何とかしたいと思うが、どういった方法があるのか、改めてごみ減量課とも相談したいと思う。他の地区では、防犯カメラを設置してほしいというご要望もある。これらについても今後検討したいと思う。

また、分別できていないごみとか間違った曜日で出されたごみとかを保管されているというお話もあったが、これに関しても、ごみパトロール車を出しているので、ごみ減量課にご連絡いただければ回収に伺うので、ご連絡いただければと思う。最後に、ネットが見苦しいので収納したいとのことだが、自治会の中で対応していただくことも含めてどういった対策がとれるのか？ということを検討させていただきたい。

(新田連合自治会)

猫やカラスがごみを散らかしているのを何度か目撃したが、自治会には関係ないマンションのごみであった。たまたま見かけて掃除をしていたら、前を走っていたごみ収集車が回収してくれたのですごくうれしかった。

(市民環境部長)

市としても、地域と一体となった環境美化に取り組んでまいりたいと考えている。

先ほどおっしゃっていただいた、ごみのパッカー車が掃除していたというのも、業務委託の中で取り残しとか散らかったごみについても集めるということをお願いしているので、業務の中でやっていただけたのではないかと思います。ごみステーションに関してはこれまで何年もいろんな地域で問題化してきたことで、現在、連合自治会でごみステーションの問題についてワーキンググループを設置し、その中で何か解決策がないか検討をしているので、もうしばらくその議論の流れをお待ちいただけたらと思う。

(新田連合自治会)

ごみ収集ボックスというのがあるが非常に高価なものである。そういったボックスを設置するのに、市からの補助はないのか。

(市民環境部長)

ごみ収集ボックスについても、自治会から設置に対する補助をして欲しい、というような声もいただいている。これも含めて先ほどのワーキンググループの中で検討課題としていたので、これも含めて今後、課題解決していきたいと考えている。

※再検討事項 … なし

3. その他

特になし

【市長まとめ】

- ◎避難所の関係については、旧若宮小学校の改修工事の影響もあり、大変ご不便をおかけしている。もし、何かあった場合は説明の中にもあったが、隣接する避難所の活用を検討して欲しい。さらにはホテルへの避難に対して補助金が出るようになったので、そちらの方も利用するなど、しばらくの間辛抱していただきたい。
- ◎避難関係の備品等整備については、3密回避に係る交付金をいただいているので、各避難所への整備を進めていきたい。なお、保管場所については新しい学習館も完成するので、その辺も含めて検討いただきたい。
- ◎災害時の Wi-Fi 環境が整っていない件については、教育委員会の方で検討を行っているが、若宮地区においては新しい学習館に設備を整備するので、当面の間はそちらの利用も検討いただきたい。
- ◎ごみの問題は、ごみを担当する環境部と、自治会を担当する市民部が今まで別々の部だった。この4月から市民環境部として解決に当たってもらっている。連合自治会と一緒に、解決方法についてワーキンググループを立ち上げ議論をしていただいている。早いうちに結論を出し、解決に向けた方針を立てたい。